

## 分野:器官系統病態学

主科目 副科目	血液内科学 Hematology			DM_1406	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)				
担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他							
板橋	◎白藤 尚毅	大井 淳 (病院准教授)	松本 謙介 田代 晴子	山本 義 松尾 琢二								
-												
-												
概要	血液内科学Ⅰ (1年次)				血液内科学Ⅱ (2年次)				血液内科学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
	<p>自立した血液内科医を育成することが基本目標である。そのためにまずスタンダードな内科医師としての経験を積んだ上で、血液専門医師としての考え方、診断技術並びに治療法の修得と、現状における問題点を認識した上での血液学的問題に立ち向かえる血液学研究者になるための基本的な知識、技術の修得、実験系の組み立て方、データの理解、並びに将来的な発展への考察を個人で可能になることが教育目的である。</p>				<p>血液専門医師としての考え方、診断技術並びに治療法の修得と、現状における問題点を認識した上での血液学的問題に立ち向かえる血液学研究者になるための基本的な知識、技術の修得、実験系の組み立て方、データの理解、並びに将来的な発展への考察を個人で可能になることを目標とする。主な血液疾患(赤血球系、白血球系、血小板系)に対し、入院患者さんを対象としてその自覚症状、他覚所見、特異的検査データ、鑑別疾患、治療法を講義、演習並びに実習で理解する。</p>				<p>最先端の医療に関する治験を自分で英文を読むことで習得する。その上で現在の問題点をとらえる能力を身に付ける。</p>			
到達目標	<p>患者さんの訴えをよく聞いたうえで身体所見を取り、的確な鑑別診断を列挙し検査を計画できる。 血液病診断に必要な基本技術(末梢血、骨髄一般染色、特殊染色、凝血学的検査、CS、PCR)を理解し、指導的立場で実践できる。</p>				<p>臨床での患者さん診療を主体にする。特殊診断に関し講義、実習を通じて理解を深める。 演習を通じて現実の臨床の知識、経験を深める。 専門性の高い血液領域の疾患について他科からのコンサルトに対応できる。</p>				<p>最新の論文を熟読し、症例ごとに最適な治療法を選択できる。 治療の最新を体験し認識した上で問題点を把握、理解する。血液疾患に対する臨床を通じて診断技術、倫理的事項への対処、医療安全上の問題への対処が指導的立場で行える。そして現状を打破するための実験系を想定できる。</p>			
事前事後学修	<p>医学生時代の教科書を復習しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>			

## ■主な演習(講義・実習含む)

	血液内科学Ⅰ (1年次)	血液内科学Ⅱ (2年次)	血液内科学Ⅲ (3年次)
板橋	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	血液学導入	特殊検査概要	研究概要
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	血液患者さんの診察、検査、治療	同種、自家移植	腫瘍特異的免疫療法
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	急性、慢性白血病
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

## 教科書・参考書

特になし

## その他履修上の注意事項

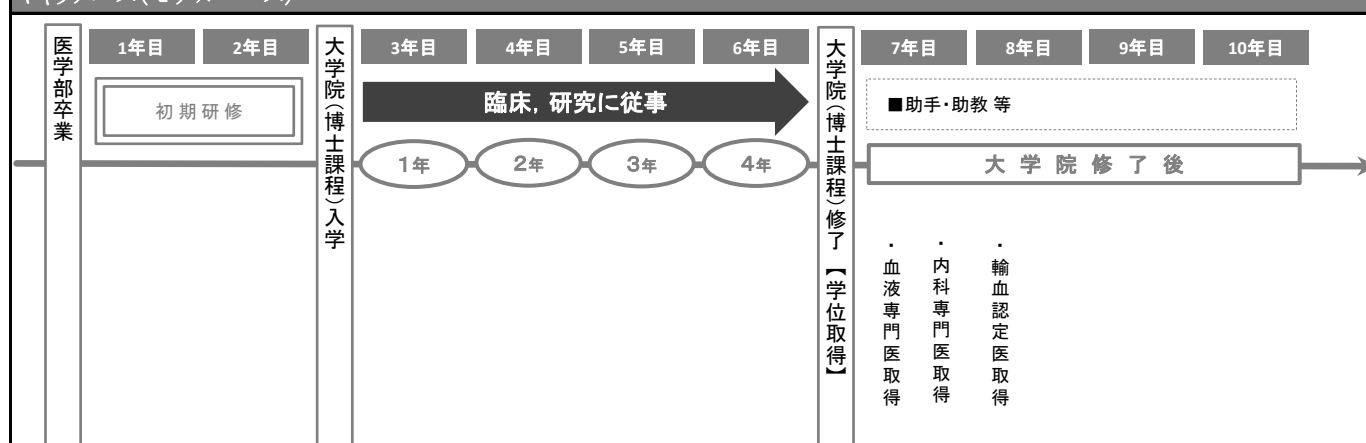
講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。  
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。  
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	総合内科以外の専門内科、人体病理学・病理診断学、生理学系、分子生体機能学など
	共通科目	血液内科学特論

## 関連する専門医資格

内科専門医(日本内科学会)、血液専門医(日本血液学会)、輸血認定医(日本輸血学会)、  
臨床腫瘍専門医(日本臨床腫瘍学会)、造血細胞移植認定医(日本造血細胞移植学会)

## キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。